

新会社

デリード&セレ ホールディングス
AM 専門子会社を設立

PM事業を中核として資産の管理運営を行うデ・リードと集合住宅建設を主業務とするセレコーポレーションの持株会社であるデリード&セレ ホールディングスは、「東アジアビジネスソリューション構想」の実現に向けた成長戦略の一環として、このたび、AM事業の専門子会社「セレアセットアドバイザーズ」を設立した。

グループが掲げる「東アジアビジネスソリューション構想」とは、上海、東京、大阪の三大都市部を戦略拠点に、日本と中国間における人、文化、資産の交流を通じて新しい価値を創造するというもの。セレアセットアドバイザーズでは、グループ会社において蓄積されたAMのノウハウを機軸に「不動産コンサルティング」、「投資コンサルティング」、「不動産ファンド」、「事業再生コンサルティング」などを事業領域として、東アジア圏をフィールドに幅広くAM事業を推進していく。

また、グループ会社である「特益特(上海)投資諮詢有限公司」が、上海を拠点として、AM、PM、サービスオフィス事業、および投資コンサルティングの分野から中国投資を支援する。これにより相互の経済交流を図るなかでグループシナジーを極大化していく。

なおセレアセットアドバイザーズでは、グループが3月に新たに組成したレジデンシャル特化型ファンド「エスバスファ

ンド2号」(資産総額約32億円)の運用を予定しているほか、07年度内に都市再生型ファンド「メイクバリューファンド1号」を立ち上げ、今後3年間で300億円の資産残高取得を目指していく方針だ。